

いずみ保育園

| | |
|---|--|
| 令和6年2月 | 申立人：保護者（口頭にて） |
| 内容 子どもの運動的な発達が心配。体を動かす遊びや 戸外遊びの機会を増やしてほしい。 | 対応 感染予防を心掛けながら活動や遊びを徐々に広 げている。 子どもたちの運動機能の発達を考慮しつつ、年齢 に合わせた遊びを継続して採り入れていきたい 旨を保護者に説明した。 |
| 背景 コロナ禍では大勢での活動を控えており、戸外や 室内での遊びも時間が限られていた。感染症対策 が緩和されてきた中、活動範囲も少しずつ広がり つつある。 | 結果 解決。 |

| | |
|--|---|
| 令和6年2月 | 申立人：保護者（連絡帳にて） |
| 内容 お迎えの時に他の保護者や子どもと一緒に遊ん でいたところ、子どもの爪が長くて、自分が引っ かかれてしまった。子どもの爪は短く切るように 伝えてほしい。 | 対応 再度、口頭で爪切りをお願いした。またクラス便 りでも「お願い」として爪は短く清潔にするよう に呼びかけた。 |
| 背景 対象児は爪が長いことが多く、担任から保護者へ 口頭で爪切りを度々お願いしている。 | 結果 対応に納得いただいた。解決。 |

いずみ第二保育園

| | |
|--|--|
| 令和6年1月 | 申立人：保護者（匿名、市役所へ申立） |
| 内容 市役所幼保課より苦情の連絡。子どもが保育園へ 行きたがらず、「先生に痛いことをされる」と訴え ているとのこと。 | 対応 該当年齢クラスの担任と園長とで面談し、状況 を確認した。園児を制止するときの力加減に気を付 けること、園児の思いを汲み取りながら友達との 関わり方を伝えていくこと、危険な行為について は丁寧に説明することを再確認した。また、これ らの保育の見直しについて、保護者向けに掲示を 行った。 |
| 背景 年齢により行動範囲が広がり、友達との関わりが 増える中で、危険な行為などに発展することもある。 子どもが危険な行為をしそうな時などは、保 育士が咄嗟に手で制止することもあるので、力が 入って痛かったかもしれない。 | 結果 その後、連絡なし。 |

いずみ第三保育園

| | |
|---|--|
| 令和6年2月 | 申立人：保護者（口頭にて） |
| 内容 保護者の仕事が休みの日の迎え時間について、全員が周知しているのか。 | 対応 迎え時間については全員に連絡していること、16時を過ぎると職員数が減って体制が変わること等をお伝えして、了承いただいた。 |
| 背景 迎えの時間が遅い日が数回あり、もう少し早い迎えをお願いしたところ、気分を害された模様。 | 結果 その後、特に問題なし。 |

| | |
|--|---|
| 令和6年2月 | 申立人：保護者（口頭にて） |
| 内容 職員の言葉遣いを注意してほしい。 | 対応 職員に報告し、保育の振り返りをした。言葉遣いについては、誰に対しても丁寧に話すように周知した。 |
| 背景 子どもが家庭では誰も使わない乱暴な言葉を話す。誰がそんな風に言うのかと聞くと、先生だと答えた。子どもの言うことではあるが気を付けてほしい、とのこと。 | 結果 その後、特に問題なし。 |

※これらの苦情解決実績については、第三者委員への報告とチェックを受けています。